

お知らせ

11月9日(水)

第30回寒地土木研究所講演会

「世界水準の価値創造空間」の形成と研究開発

13:10～16:45 かでの2・7

※詳細は27ページをご覧ください。

11月22日(火)

建設業取引の適正化をより一層推進するために

9:30～12:00 札幌第一合同庁舎 2階講堂

※詳細は28ページをご覧ください。

11月22日(火)

北海道インバウンドフォーラム

14:00～17:00 (一財)北海道開発協会 6階会議室

※詳細は29ページをご覧ください。

11月29日(火)

第12回助成研究発表会

「北海道の地域医療の現状と課題」

14:00～16:30 (一財)北海道開発協会 6階ホール

※詳細は30ページをご覧ください。

11月29日(火)

北海道水素地域づくりプラットフォーム平成28年度第2回会合
～地球温暖化対策と地域活性化を両立し得る水素社会の可能性～

2015年12月、COP21で「パリ協定」が合意され、すべての国が参加する温室効果ガスの削減枠組ができ、持続可能な地球環境の維持に向けて、我が国においても着実に取り組む必要があります。水素社会の構築も重要なテーマの一つです。

北海道においては、豊富に賦存する再生可能エネルギーの活用を、水素を利用することにより促進することで、地産地消による地域活性化と共に持続可能な地域環境の維持に貢献できる可能性があります。今回、環境省及び国立研究開発法人産業技術総合研究所から講師をお招きし、水素社会の構築に向けた取組みの必要性についてご講演をいただきます。

●場 所 センチュリーロイヤルホテル 20階「グレイス」

●時 間 14:30～17:00

講演

「地球温暖化対策と水素の役割」

福島 健彦 氏 (環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室長・調整官)

「水素エネルギー技術に関する産業技術総合研究所の取組」

高木 英行 氏 (国立研究開発法人産業技術総合研究所創エネルギー研究部門エネルギー触媒技術グループ研究グループ長)

会員からの情報提供、意見交換ほか

*傍聴を希望される方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ/北海道開発局開発連携推進課

TEL 011-709-2311 (内線:5417)

国営滝野すずらん丘陵公園

11月11日(金)～12月22日(休)

冬季開園準備のために閉園いたします。

11月5日(土)

森の工作教室

公園でとれた木の実やドライフラワーを使ってリースを作ります。

●参加費 200円(入園料・駐車料金は別途)

●定員 15名/回

●場 所 森の交流館

●時 間 10:30～12:00、13:00～14:30

*申込み(滝野管理センター:011-594-2222)

11月6日(日)

森の染校

森の素材を使ったバードコールを作ります。

●参加費 200円(入園料・駐車料金は別途)

●定員 15名

●場 所 森の交流館

●時 間 10:30～12:30

*申込み(滝野管理センター:011-594-2222)

※詳細は当公園ホームページ(<http://www.takinopark.com/>)をご覧ください。滝野公園案内所(011-592-3333)までお問い合わせください。



研究所だより



台風10号で大荒れの8月30日、インバウンド研究会の現地研究会で様似町に伺い、翌日は帯広方面に出て札幌に戻る予定でした。が、予報どおり午後から風雨が強くなり海は大荒れ、海岸沿いの道路は越波して危険な状態になってきました。事務局は研究会の進行のかたわら、気象変化と道路状況を適宜スマートフォンで検索し、特に道路不通のニュースで全道各地が恐ろしい状況になっていることをキャッチ。翌日の行程をやめ、日高の山道をたどってなんとか帰札しました。

これがインバウンドの観光客がドライブしていた場合はどうなるか。日本人旅行者であっても災害時にもっとも必要な情報にたどり着くのは容易ではありません。当協会の情報サイト「北海道インバウンド・インフォ」でも早速サポートの検討を始めました。(草薙)

●「開発こうほう」へご意見・ご感想をお寄せください。

(一財)北海道開発協会広報研修出版部

〒001-0011

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル

電話 011(709)5212

e-mail:pr@hkk.or.jp

●「開発こうほう」は、北海道開発協会のホームページでもご覧になれます。

●(一財)北海道開発協会では、賛助会員を募集しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

開発こうほう 第640号 平成28年10月25日発行

発行 (一財)北海道開発協会

印刷 (株)須田製版 不許複製

<http://www.hkk.or.jp/>

本誌は再生紙を使用しております。